

原田伴彦 はなだ はんいち 國史學者、經濟學博士。大正六年二月十一日法賀縣  
 生れ、昭和五十八年十一月八日歿（一九七一年）。昭和十四年東京帝國  
 大學文學部卒。大阪市立大學教授、のち八代學院大學教授。『原田伴  
 彦著作集』全八巻刊。

著書 『中世における都市の研究』（昭和十七年十月十四日大日本雄辯  
 會講談社）、『關ヶ原合戦前後（封建社会における人間の研究）』（昭  
 和二十一年二月一日大阪・創元社「創元歴史選書」）、『歴史家  
 のみた講談  
 の主人ハム』（藤直幹共編、昭和二十二年一月二十日二二書房「二二新  
 書」）、『歴史における芸術と社会』（合著・日本史研究会編、昭和  
 二十五年九月十五日みずが書房）、『日本女性史』（昭和四十年八月  
 二十五日河出書房新社「河出ペーパーバックス」）、『茶道盛衰記』  
 （昭和四十一年十月十日角川書店「角川新書」）、『浪花のロマン』  
 （合著・大阪新聞社編、昭和四十一年十一月二十五日大阪・全国書  
 房）、『江戸時代の歴史』（昭和五十八年七月十五日二二書房）等。

